

先週のマーケット動向(2月6日~2月10日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,247.5	1,266.5	1,243.8	1,265.2	+35.8
JPY/KRW	9.4436	9.6365	9.4050	9.6008	+0.037
KOSPI	2,461.82	2,487.35	2,432.40	2,469.73	▲10.67

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は大きく上昇した。3日発表の非常に堅調な米雇用統計を受けて、6日のドル/ウォンは1,247.5まで上昇してオープン。序盤こそ水準感から実需のウォン買いが入ったものの、インフレ鈍化期待に賭けていた海外投資家勢からは韓国株売りを浴びせられ、午後にかけてドル/ウォンはさらに上値を伸ばした。7日海外時間に行われたパウエルFRB議長の講演では、インフレ低下のプロセスが開始したことを好感した一方で、依然労働市場は堅調であり、インフレ抑制のために利上げの継続を強調した。これらはほとんどFOMC後の会見と同じトーンの内容であったことから、米債券市場は落ち着きを取り戻すと、それ以降は市場全体で材料不足が否めず、方向感に乏しい展開が継続。結局、先週対比35.8ウォン上昇した1,265.2ウォンにてクローズ。

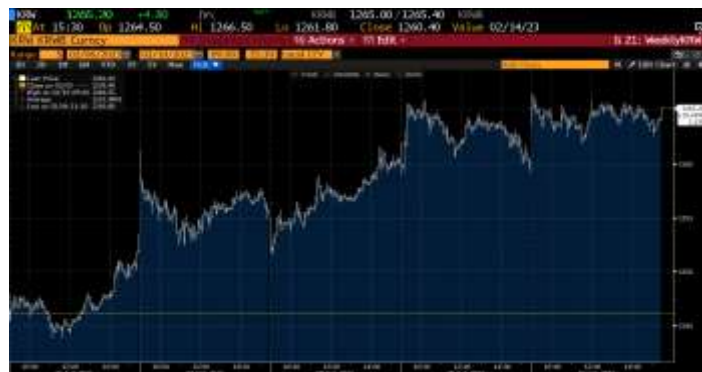
今週の見通し

今週のドル/ウォンは底堅い展開を予想する。ロシアによる原油減産報道等を受けて、エネルギー価格は上昇基調となっており、市場全体でのインフレ鈍化期待が後退しつつある。1月米CPI(14日)で、予想通りインフレ鈍化が観察されるようであれば、もう一度ドル売り相場に戻ることが期待されるものの、そうでなかった場合にはドル売りの巻き戻しがさらに加速しドル/ウォンは上昇しよう。投機筋のポジションの偏りを考えれば、ドル/ウォンは上昇幅の方が大きいと予想している。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1250 ~ 1280	9.50 ~ 9.80	130.0 ~ 133.0

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 14日(火) 日 12月 鉱工業指数 確報値
欧 4Q GDP 改定値
米 1月 CPI
日 4Q GDP 速報値
- 15日(水) 米 1月 小売売上高
米 1月 鉱工業生産
米 2月 NY連銀製造業指数
韓 1月 失業率
- 16日(木) 日 12月 機械受注
米 1月 PPI
米 1月 住宅着工件数
日 1月 貿易統計

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。